

Life Design Report 2024

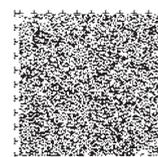
イオンモールは、地域共創業へ。



イオンモール株式会社

本冊子には、目の不自由な方向けの音声コード「Uni-Voice」を掲載しています。

- 専用の読み上げアプリまたは装置で読み取ることで内容を音声で聞くことができます。
- 触覚で音声コードの位置を見つけられるよう、ページの端に切り欠きを入れています。



地域の皆さまとともに より良い未来への想いをカタチに。

イオンモールがめざすのは、
“地域とともに暮らしの未来をつくる
Life Design Developer” であること。

楽しく快適に過ごせるモールの展開。
どんなときも安全・安心に暮らせるまちづくりへの貢献。
環境に配慮した持続可能な社会の実現。

地域の想いに寄り添い、ともに未来を見据えて
皆さまのしあわせな毎日につながる取り組みを、
もっと、もっと、これからも。

自由な発想でさまざまな可能性を追求し、
地域に欠かせない存在をめざしてまいります。

基本理念
お客さま第一

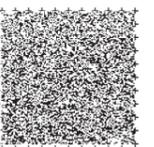
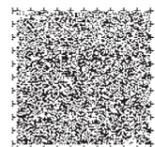
経営理念
イオンモールは、地域とともに
「暮らしの未来」をつくる
Life Design Developerです。

経営ビジョン
アジア50億人の心を動かす企業へ

コーポレート・メッセージ
ひと、まちも、きらきら。



イオンモールは、地域共創業へ。 ……………	04
ともに地域共創をめざすパートナーの皆さま ……………	06
01 専門店 ……………	08
02 自治体 ……………	14
03 地元団体 ……………	20
04 お客さま ……………	24
〈特集〉海外の取り組み ……………	28
- 中国で地域に寄り添った独自企画を開催	
- アセアンでも地域社会の幅広い課題を解決	
05 当社従業員 ……………	32
06 多様な企業 ……………	36
07 地域スポーツ団体 ……………	40
08 産学・研究機関 ……………	44
〈特集〉JIYUGAOKA de aoneができるまで ……………	48
私たちはパートナーの皆さまとともに笑顔あふれる未来を創造します。 …	50



AEON MALL 2030年ビジョン
イオンモールは、地域共創業へ。

私たちは、同じ志を持つ
すべてのステークホルダーをつなぎ、
持続可能な地域の未来につながる営みを共創します。

「地域共創業」とは、全社で持続可能な未来の実現に
貢献するためのビジョンで、パートナーの皆さまとの共創に
取り組む従業員一人ひとりの意思と価値軸を示しています。



両者の知識や経験を相互に提供

新しい価値を創造

地域社会の皆さまとともに
より良い未来を創造します。

社会環境が変化の中で、
ショッピングモールの役割も大きく変わっております。
当社は多様なパートナーの皆さまと連携し
より豊かな暮らしを実現するための変革を進めることで、
持続可能な地域の未来に貢献する「地域共創業」をめざします。

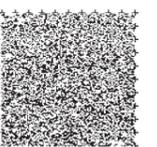
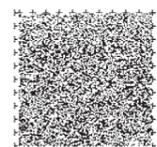
日々の生活に関わる社会的な問題や地域独自のお悩みなど、
暮らしの身近なところに多岐にわたる課題があり、
当社単独で解決するのが難しいものも少なくありません。

業種や立場を越えたパートナーの皆さまとのつながりを深め
知識や経験を結集することにより、取り組みの幅を広げ
より良い地域社会を共創してまいります。



代表取締役社長

大野 恵司



ともに地域共創をめざす パートナーの皆さま

イオンモールは、多種多様な
パートナーの皆さまと協力関係を築き、
地域共創の実現に向けて
さまざまな取り組みを進めています。



P8 専門店

専門店さまとの新たな試みで
地域の課題解決に取り組む。



P14 自治体

地域の特性や課題を深く理解し、
人々の生活をサポートする。



P20 地元団体

地域独自の魅力や特色を磨き上げ
未来へつなぐ。



P24 お客さま

来館したお客さまに参加いただいて
共感や協力の輪を広げる。



P32 当社従業員

従業員一人ひとりの行動から
地域社会の未来を創造する。



P36 多様な企業

異なる業界の異なる視点で
新しい可能性を追求する。



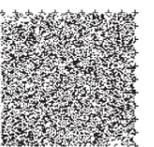
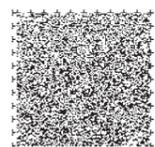
P40 地域スポーツ団体

スポーツの魅力を通して
コミュニティ拠点を創造する。



P44 産学・研究機関

豊かで健やかな暮らしに貢献するため、
専門的かつ客観的な検証を重ねる。



地域の課題解決に取り組み。
専門店さまとの新たな試みで

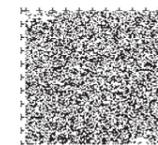
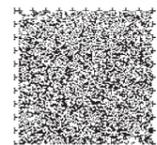
多種多様な商品やサービスを提供いただく専門店と
そこで働く従業員の皆さまは、私たちとともに
イオンモールの毎日をつくる大切なパートナーです。
全館でより魅力のある施設に成長するために、
日頃からさまざまな協力体制を築いています。

こうしたパートナーシップは
ショッピングシーンの創出に留まりません。
同じエリアに暮らし、ともにひとつ屋根の下で働く
専門店の皆さまと力を合わせて、
それぞれの地域における課題解決をめざし、
日々のモール運営から地域社会を支えてまいります。

Fashion Service NANIWA

イオンモールは、専門店さまと協力して
地域社会の多様なニーズに沿った提案を行います。

Next Page ▶



「共同配送サービス」を構築して、 専門店と配送業の課題にアプローチする。

#イオンモールの共同配送 #物流の2024年問題 #商品配送を効率化 #浪速運送株式会社さま



専門店・企業



AEON MALL

専門店の商品配送費用を削減するとともに配送効率を向上

物流業界は、2024年の働き方改革によりドライバーの労働時間が短縮することで配送物流課題の影響による専門店企業さまの商品配送コストの上昇などに対応することを会社さまにご協力いただき、複数の専門店さまの商品の集荷・配送を共同で行う

能力が不足する可能性があるなど、「2024年問題」と呼ばれるさまざまな課題を抱えています。目的に、共同配送サービスを24都道府県で実施しています。配送パートナーとして浪速運送株式会社で、コスト削減と配送効率の向上につなげています。



インタビューの
全文はこちら



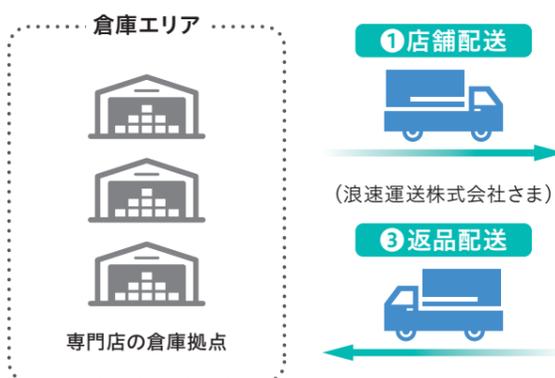
PORT STYLE株式会社
経営管理部 部長
矢下 克正さま

専門店

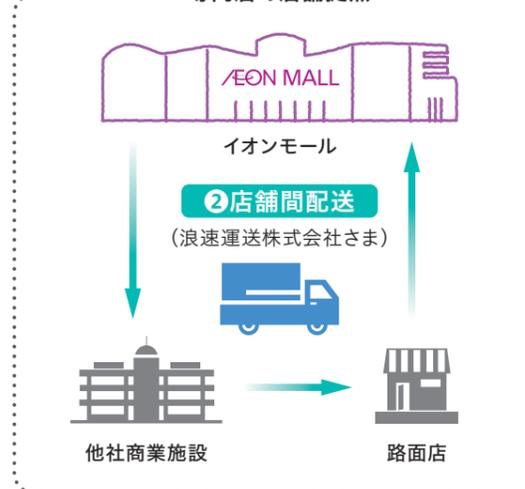
サービスの質が良く配送コストも魅力です

当社は、帽子専門店「イチヨンプラス」を運営しており、イオンモールさんを含め全国に38店舗出店している内、20店舗で共同配送サービスを利用しています。扱う商品の量や種類が多いため、従来は配送にかかるコストが課題になっていましたが、共同配送の導入で業務を最適化することができました。当社のインフラにあたる重要な配送業務として、サービスの継続性を確保いただけてますし、計画通り商品が運ばれるなど、全体的な配送レベルも維持されているため、安心して利用できますね。サービスの質や価格の説明がわかりやすく、コスト面でも魅力を感じたことがスムーズな導入につながりました。

専門店企業さまの倉庫拠点から、イオンモールだけでなく他社商業施設、路面店などの店舗への配送を実施。店舗間の輸送や倉庫への返品にも対応しています。



専門店の店舗拠点



ビジネスイノベーション
推進部 部長
加藤 拓也



イオンモール

専門店さまの期待に応えるとともに社会課題を解決

共同配送サービスは、商業ディベロッパーとして専門店さまの支援を目的にスタートした取り組みで、ますます深刻化する社会の物流課題解決にもつなげていきたいと考えています。数社の専門店さまにヒアリングを行い、コスト面を調整するほか他社の商業施設も配送対象に含めるなど、専門店さまの視点に立ったサービスを検討しました。共同配送サービスで収益を得るというよりも専門店さまの課題解決に取り組み、モールのサステナビリティを高め、将来的に専門店さまの出店判断材料のひとつになることをめざします。今後も、商品の配送そのものに限らず、関連するさまざまな課題の解決に取り組んでまいります。

ビジネス共創
マネージャー
正木 佑



企業

商品をまとめて配送し業務の効率化を促進

主にアパレル業界の配送業に携わる当社にとって、共同配送は新しい事業の柱になりうる魅力的なご提案でした。イオンモールさんのような商業施設を運営する企業さまが主体となることで、ひとつの施設にまとめて荷物を運べる仕組みができれば商品の配送をトータルで効率化できるため、共同配送サービスに参加させていただき意義を感じています。既存の取引先さまからも高く評価いただき「こういった取り組みは、どんどんやってほしい」という声もいただいています。商業施設を運営する企業さまから物流の課題解決のご提案をいただくことはなかったので、まさに画期的ですね。



浪速運送株式会社
営業部 マネージャー
奥 正文さま

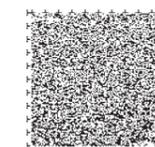
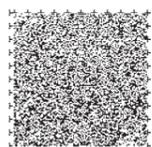
企業

物流課題の解決に向け三者で連携するきっかけに

当社にとっても、共同配送サービスは新しい企業さまとの取引につながるほか、トラック1台あたりの積載量を高めて配送業務全体を効率化できる利点があります。イオンモールさんにサービスを立ち上げていただいたことにより、商業ディベロッパー、専門店企業さま、私たち物流企業の三者が連携して物流課題に取り組むことができるため非常にメリットを感じています。当社は以前より、北海道から九州まで全国へ商品を配送できる基盤を構築していたため、共同配送サービスのエリアの拡大にもその配送ネットワークを活かすことができました。



浪速運送株式会社
営業部 マネージャー
樋口 太郎さま



専門店のスペースを学生と共有。 学びの場が館内に新たな活気をもたらす。

学生が学んだことを披露する機会を提供

心斎橋オーパに出店いただいている古着の大型セレクトショップ「Three Star Osaka (運営:ファイバーシーディーエム株式会社さま)」の店舗内に、大阪モード学園さまのサテライトラボ「創造区」をオープンしました。大阪モード学園さまは、ファッションデザインをはじめ、ヘア・メイクアーティスト、美容、メイク・ネイル、インテリア、グラフィックなどさまざまな専門分野のプロを育成する総合的な専門学校です。創造区ではヘアアレンジやファッションショーなどのイベントを開催するほか、服飾の作品展示を行うなど、学生が日頃の成果を披露する場として活用いただきました。



#産学連携プロジェクト #創造区 #体験型施設 #心斎橋オーパ



心斎橋オーパ



専門店・学校



AEON MALL



ファイバーシーディーエム株式会社
リテール部 次長
瀬田 敬司さま

専門店

店舗スペースを学生の 学びの場として提供

店舗拡大にあたり、学生の学びや経験の場として活用いただこうと考え、スペースの提供を提案しました。創造区での活動を通して、学生からリアルな現場で学びの機会が得られてよかったという声をいただき嬉しく思います。心斎橋オーパの担当者さんとは日頃から密にコミュニケーションを取っており、今回も三者で意見を交わしながら取り組むことができました。

イオンモール

日頃から専門店さまとの関係性を深め協力関係を構築

三者がそれぞれアイデアを持ち寄る中、告知物へのアドバイスなど特に集客面でサポートなどは主に専門店さまを介して進めました。館内に店舗いただいている専門店さまとは、日頃か関係を築くよう心がけています。



学校法人日本教育財団
大阪モード学園
教務部
河野 浩二さま

学校

プロをめざして成長する上で 貴重な体験に

学生たちは日常的にさまざまな作品や成果を学内で発表し、担当講師や学生たちから評価を受けていますが、一般の方に見ていただくことが少なく、以前からもっと学外の方の目にふれる機会がほしいと考えていました。一般のお客さまからの評価は、各自が技術を磨く上でとても刺激になります。学内では得がたい貴重な体験をさせていただきました。

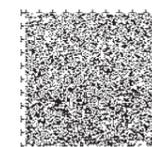
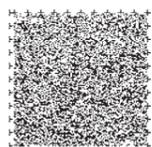
を構築

行いました。創造区は店舗内にあるスペースのため、企画のご提案から各社の方針や戦略を理解することで両者にとってプラスになる

心斎橋オーパ
営業マネージャー
田原 舞夏



インタビューの
全文はこちら



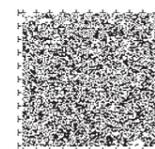
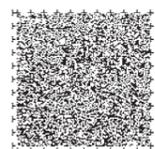
地域の特性や課題を深く理解し、
人々の生活をサポートする。

日々、地域の皆さまの暮らしを
あらゆる面から支えている自治体。
イオンモールが課題解決に取り組む上で、
地域の特性を深く理解している
自治体との連携は欠かせません。

災害対策、少子高齢化への対応、
公共機能のさらなる充実といったその地域で求められる
最適な課題解決の施策とともに検討・実施します。
皆さまの生活をより良くするという共通の信念を持ち、
地域の発展に多角的に貢献します。



イオンモールは自治体と連携を深め、
地域社会の皆さまとともに的確な課題解決に取り組みます。 Next Page ▶



安心して暮らせるまちづくりをめざし、 エリア全体の安全意識を高める。

地域のつながり強化をめざすイベントを実施

イオンモール新瑞橋では「あらたま繋がりweek」として地域の皆さまとつながる場となる企画を開催しました。9日間かけて警察署、消防署、学校、自治体など8団体と協力し、事故や災害から身を守るために必要なことを学べる体験企画や展示、ステージイベントなどを実施。企画の準備を通して協力団体の皆さまとの関係性を築くとともに、ご参加いただいた多くのお客さまには普段の生活に潜む危険をあらためて意識し、暮らしの安全を考えていただく機会になりました。

#地域のつながり #防犯・防災意識の向上 #安全な暮らし #イオンモール新瑞橋



イオンモール新瑞橋

「あらたま繋がりweek」に参加した各団体の取り組みのご紹介

愛知県南警察署

護身術セミナー、犯人逮捕実演、名古屋市南高等学校・吹奏楽部による演奏など

愛知県防災安全局

起震車を利用した地震体験など

愛知県南区消防団

家具転倒防止対策の紹介

日本AED財団・愛知PUSH

専門講師による心肺蘇生講習

名古屋市南消防署

ポッカレモン消防音楽隊による
演舞や消防車両の展示など

名古屋市見晴台考古資料館

見晴台遺跡で発掘した土器や
再現した貝塚などの展示

名古屋市南区の団体(6団体)

ステージイベント
(協力:名古屋市南区役所)

大同大学・大同大学大同高等学校

伊勢湾台風に関するパネルの展示

イオンモール新瑞橋

イベントの回遊性を高めるスタンプラリー



イベントのチラシ裏面は、
避難場所などを自分で書き込んで
オリジナルのハザードマップを
つくれるデザインに

公的機関



AEON MALL



愛知県南警察署
地域課 地域総務係 警部補
鎌田 浩一さま

公的機関

署内で趣向を凝らし多様な企画を実施

護身術セミナー、犯人逮捕実演、自転車事故や犯罪への注意喚起を行うと
会になりました。大型商業施設である
の向上につなげたいですね。

車安全運転実演など、署内の各部署とさまざまな企画を練って参加しました。
もに、区民の皆さまを守るために励む、日頃の訓練などにもご理解いただく機
イオンモールさんならではの発信力を活かし、多くの区民の皆さまの安全意識

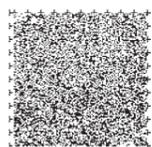
イオンモール 地域のつながりを生み出す機会を提供

今回の企画のテーマは「つながり」です。お客さまと参加団体をどうつなげるかを重視するとともに
という想いで立案しました。協力団体を探す中で、これまでお付き合いのなかった方々とのご縁
さまの三者の中心となってつなげられるのは、イオンモールならではの役割ですね。

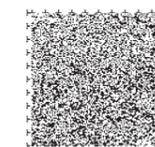
に、エリア全体の安全を守りたい
もできました。地域・専門店・お客

イオンモール新瑞橋
オペレーション担当
鶴和 桃花

イオンモール新瑞橋
営業担当
岡安 愛実



インタビューの
全文はこちら



ファッションを通じた自己表現を 共生社会を実現するきっかけに。

ユニバーサルファッションショーを開催

共生社会の実現をめざして、障がいのある方にもない方にも着ることの楽しさや自分を表現する喜びを感じていただくことを目的とした山梨県主催の「ユニバーサルファッションショー」を、イオンモール甲府昭和で実施しました。2023年は公募により障がいのある方も15名が県内各地からモデルとして参加。アパレル系専門店の商品を衣装として着用しランウェイを歩くほか、山梨大学ダンス部の皆さまとダンスパフォーマンスを披露し、参加いただいた皆さまだけでなくご覧になったお客さまにもお楽しみいただきました。



#ユニバーサルファッションショー #共生社会 #変身! #イオンモール甲府昭和



イオンモール甲府昭和

自治体・専門店



AEON MALL



山梨県
福祉保健部 障害福祉課
(地域生活支援担当) 主事
横森 穂菜美さま

自治体

人々が個性を認め合う社会づくりを促進

ユニバーサルファッションショーは、山梨県が主体となり5年ほど前から取り組んできた事業で、より多くの方に見ていただくため2022年からイオンモール甲府昭和さんにご協力いただいています。多様なお客さまが集まる開放的な空間で多くの方にショーをご覧いただけるのは、広く障がい者理解を促進する上でも本当にありがたいですね。モデルさんの保護者さまからも「出演をきっかけに本人が自信を持てるようになった」といった声を多くいただきました。

イオンモール

誰もが生き活きと輝く 社会の実現に貢献

障がいのある方とない方のお互いの違いを個性という言葉で表現し、その取り組みました。当日はモデルの皆さまが身振り手振りで声援に応えるさまざまな方とのつながりを大切に、それぞれの強みを活かすことで実

専門店

モデルさんの喜ぶ姿をイメージして 衣装を選択

弊社も日頃から人と社会とつながることを大切に考えており、企画の目的に共感し衣装提供に参加しました。衣装は、モデルさんの情報や「こんなイメージにしたい」というご要望をふまえて選んでいます。お似合いになる服を選んでぜひ喜んでいただきたいという想いでコーディネートしました。

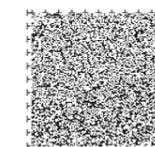
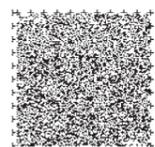


株式会社アイジーエー
アクシズファーム
イオンモール甲府昭和店 店長
菊地 早苗さま

イオンモール甲府昭和
営業担当
金子 夏実



インタビューの
全文はこちら



Partner 03 地元団体

地域独自の魅力や特色を磨き上げ
未来へつなぐ。

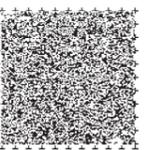
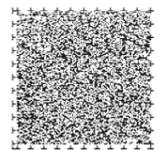
地域を支えてきた基幹産業や、地元が誇る観光資源や特産品。
そして、世代を超えて育まれてきた独自の文化や伝統行事。
イオンモールが出店しているすべての地域には、
そのエリアにしかない魅力や特色があります。

大切にしているものを継承し、未来へ発展させるために。
そこに暮らす皆さまとの対話を通して
心をひとつに重ね合わせて地域をいっそう輝かせるための
さまざまな活動を進めています。



イオンモールは、地域の皆さまと想いを一つに、
暮らしに根ざした文化や伝統の発展に貢献しています。

Next Page ▶



数百年にわたって続く伝統祭事を盛り上げて 地域の熱い想いを継承する。

伝統ある「新居浜太鼓祭り」をモールの敷地で開催

イオンモール新居浜では、約20年にわたり新居浜太鼓祭りの夜太鼓の実施会場として駐車場のスペースを提供しています。2023年10月の太鼓祭りは、コロナ禍を経て4年ぶりに制限なしでの開催となり、高さ約5.3mの巨大な太鼓台(山車) 10台と、約1,500名の「かき夫」と呼ばれる担ぎ手が集結。大勢の観客が見守る中、ライトアップされた豪華絢爛な太鼓台による圧巻のパフォーマンスを披露しました。



#新居浜太鼓祭り #四国三大祭り #夜太鼓 #イオンモール新居浜

地元団体



AEON MALL



新居浜市 川西地区
太鼓台運営協議会 顧問
加藤 喜三男さま

地元団体 地域にとって 大切な太鼓祭りの開催を継続

新居浜に暮らす人たちにとって、太鼓2001年にイオンモール新居浜がオーから敷地内での開催をご提案いただき、イオンモールさんのおかげで

祭りは「盆・正月には帰らずとも、祭りには帰る。」というくらい大切なものです。ブンするまで太鼓台などが集まる場所がなかったのですが、イオンモールさんきました。祭りの関係者はみな、感謝していると思います。2023年も大変な混大きな事故やウイルス感染などもなく無事に終わることができました。

イオンモール 全館を挙げて祭りの盛り上げに貢献

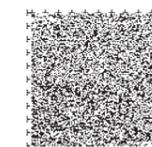
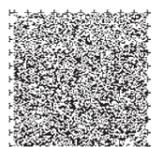
お祭りのスケジュールに合わせて、通常21時までの営業時間を22時まで延長しました。モール催し、抽選会やセールを実施するほか、飲食店関係の専門店さまが店舗を飛び出して軽食を販売しました。今後も多くのお客さまにご来店いただく施設として期待に応えるため、地域の皆さま

の敷地内で夜太鼓をお楽しみいただくとともに、周年祭を同時開催するなど、専門店の皆さまと協力して盛り上げられる施策を実施と同じ視点に立ち、地域のさらなる活性化や発展をめざします。

イオンモール新居浜
営業担当
古庄 裕子



インタビューの
全文はこちら



Partner 04 お客様

来館したお客さまに参加いただいで
共感や協力の輪を広げる。

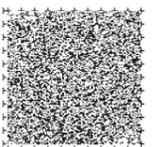
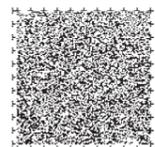
イオンモールをご利用いただいているお客さまには、
ごみの分別、リサイクル、募金・献血活動へのご参加など
当社の企業活動に日頃から多大なご理解と
ご協力をいただいています。

それぞれのイオンモールは、同じ地域に暮らす
お客さまのコミュニティをつくる場でもあります。
日頃のさまざまな活動の成果を披露していただいたり、
地域が抱える課題を多くの方に
共有していただく機会となっています。



イオンモールはお客さまに関心を持っていただく施策を実施し、
皆さまと社会に貢献します。

Next Page ▶



高校生が書道の新たな文化を発信し 多くのお客さまに感動を届ける。



#書道パフォーマンスグランプリ #高校生 #地域間交流

Partner 04



大会を通して全国の高校生が 書道の魅力を発信

書道を通じた新たな文化の創造と発展、芸術文化の地域間交流の促進をめざし、「第3回 全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ」を開催しました。2015年から中四国エリアで実施していた大会を、2021年より全国規模へと拡大。音楽に合わせて大きな紙に文字や絵を描き、多くのお客さまに感動を生み出します。



学校



AEON MALL

第3回大会は97校が応募し、各エリアの予選を勝ち抜いた代表校と前年度の優勝校、計12校が決勝大会に出場。2024年1月にイオンモール幕張新都心で迫力のパフォーマンスを披露しました。



インタビューの全文はこちら

決勝大会参加校:大曲高等学校(秋田県)、本庄東高等学校(埼玉県)、浜松市立高等学校(静岡県)、開建高等学校(京都府)、上宮高等学校(大阪府)、伊川谷北高等学校(兵庫県)、鳥取城北高等学校(鳥取県)、神辺旭高等学校(広島県)、高松西高等学校(香川県)、土佐女子高等学校(高知県)、熊本中央高等学校(熊本県)、前年度優勝校:仙台育英学園高等学校(宮城県)



第3回優勝校
仙台育英学園高等学校
書道部さま

学校 刺激になった他校のパフォーマンス

以前、先輩方が出場した大会での悔しい結果をバネに、全国高等学校書道パフォーマンスグランプリに挑み、第1回大会から3年連続で決勝大会に出場できました。予選ではエリアの、決勝では全国の強豪校とともに演技を披露し、鑑賞しあい、その刺激で成長できました。当大会運営の皆さまに心から感謝し、今後もさらにがんばってまいります。

イオンモール 生徒さんとお客さまがつくる感動の空間

大会に参加した高校生の皆さんの、最後まで努力を惜みず、完成した書を掲げて感極まる姿には観覧するお客さまも涙するほどの熱量がありますね。墨の匂いが漂うほど近い距離で一般のお客さまに応援していただけるのは、生徒さんたちにとってもたいへん励みになるという声をいただいています。生徒さんとお客さまが一体となって感動的な空間をつくっていることを実感します。

販売促進部
南 知葉



生活に身近なごみの問題を 楽しみながら考えるきっかけに。



Partner 04



ごみ拾いにスポーツの要素を 取り入れた「スポGOMI」を開催

当社では2022年度から、のべ16モールでスポGOMIを実施しています。スポGOMIは従来のごみ拾いを環境美化活動から競技へと変換させたスポーツで、制限時間内に拾えた量と種類をチームで競います。ルールが簡単なため、お子さまから大人の方まで幅広い世代の方にご参加いただいております。より多くの方に地域のごみ問題と向き合う機会を提供しています。



※スポGOMIは、一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブが運営する取り組みです。

お客さま



AEON MALL

2023年6月にイオンモール東浦で開催したスポGOMIは、お客さま、専門店の皆さま、地元スポーツチームなど、35チーム、133名が参加。約57kgのごみを集めました。



インタビューの全文はこちら

環境問題を考えるきっかけになりました。

まちに落ちているごみが
海に行き着くことを初めて知りました。

今後もこのような活動があれば参加したいです。

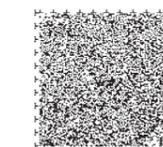
お客さま



イオンモール 健康に貢献するとともに環境問題を考える機会に

当モールは以前から『健活』と題して健康や運動に関するさまざまな企画を実施しており、スポーツ感覚で楽しみながら環境美化活動にも貢献できるスポGOMIを新たに導入しました。スポGOMIは、地域に新たなつながりを創出できることが魅力です。運営にあたり、皆さまが交流するとともに、地域やごみについて楽しみながら学べる機会になるよう心がけました。

イオンモール東浦
営業担当
田中 麻以





中国で地域に寄り添った独自企画を開催

地域ならではの魅力を引き出す「究極のローカライズ」企画を実施

当社は、経営ビジョンのひとつに「パートナーとともに、地域の魅力を磨き続ける究極のローカライズに挑戦する」ことを掲げています。「究極のローカライズ」は、ビジョンの具現化をめざしてモールの従業員が地域の課題解決につながる独自企画を立案し実施する取り組みです。2021年に中国・山東省エリアの2モールで開催し、2022年には中国の全モールに拡大しました。

社会の変化に応じて、より地域に寄り添うモールへ革新

近年の中国では少子高齢化、競争激化が進む一方で、住みやすい、働きやすい、遊びやすいなど、幸せな地域を構築する「15分間幸福生活圏」を中国商務部が発表するなど、環境や価値観が変わりつつあります。当社も出店数の拡大から地域に最適化した個性あるモールづくりへのシフトをめざして、究極のローカライズ企画を推進しています。当初は各モールが何をすればいいかとまどう様子もありましたが、地域の魅力と課題を調べるなど、地域のあるべき姿をイメージし、どのように貢献できるか考えることで徐々に理解が深まり、ステークホルダーやお客さまから高い評価をいただける企画が生まれるようになりました。イオンモールの専門店、インフラ機能などのポテンシャルと地域の資源を掛け合わせ、共通の問題意識を持つ方をつなぎ、地域の課題解決および発展を支援することで、より幸せな地域の未来をつくっていききたいですね。



イオンモール(中国) 投資有限公司
SC運営統括部
ESG推進部担当
劉岳



インタビューの全文はこちら

2021年

高齢者の方に生き生きと輝く時間を提供

イオンモール煙台金沙灘

山東省煙台市は、中国全国平均より13年早い1987年から高齢化社会に入り、約4人に1人が高齢者と言われています。地域の皆さまに高齢者の方へ関心を持っていただくとともに、高齢者の方に思いやりのあるサービスと自己表現の場を提供することを目的に「最高の夕焼け・高齢者がもっと輝けるおもいやり企画」を開催。無料の健康診断や広場ダンス大会などを実施し、多くの方に楽しみいただきました。



山東省煙台市は約4人に1人が高齢者。ライフスタイルにそったニーズに応える

思いやりのあるサービスや自己表現をする場を提供

高齢者のより豊かな暮らしの実現をサポート



2022年

農産物の販路拡大で地元農家を支援

イオンモール天津TEDA

地元の農村地域で販路が限られ農村振興が課題になっていたことから、販売促進をめざす「地元の農業発展に向けた支援活動」を実施。試食会を開催し、そこで気に入った商品をオンラインで購入予約できるほか、地元メディアと協働でお子さま向けの農業体験などを実施し、農産物の知名度アップや販路の拡大に貢献しました。

農産物の種類が豊富にそろう一方で販売販路が限られている

農作物の魅力を発信するとともに購入の機会を提供

お客さまに品質の高さを認知いただくなど、ブランド力が向上

学生によるライブ配信で地元農業の発展を促進

永旺夢楽城(湖北) 商業管理有限公司 運営部

地域農業の発展をめざし、「農業支援LIVEコマース起業家大会」を開催しました。約200名の学生がお茶やみかんといった地元の農産物の販売促進を目的としたライブ配信を行い、視聴いただいた多くの皆さまに、リアルタイムで農産物を購入いただきました。地元農家をサポートするだけでなく、学生が実際にオンライン販売に挑戦することで、起業や就職の支援につながりました。



湖北省の地域農業の発展が遅れている

ライブコマースを活用した農作物の販売促進企画を実施

配信視聴者 10万人 「いいね」数 50万

地域農業の発展をエリア全体で支援



アセアンでも地域社会の幅広い課題を解決



SDGsを広く浸透させる 取り組みをアセアン3か国で開催



インタビューの全文はこちら



日本との友好関係を祝うとともに SDGsの理解を促進



日本とカンボジアの外交関係樹立の友好70周年記念事業として、2023年11月にイオンモール センソックシティで国連共催イベントを開催しました。「脱プラ」「フィンテック」「食の安全」「交通渋滞」「女性活躍」をテーマに、現地関連省庁の方、専門家、そして関連企業の代表などを招いてパネルディスカッションを実施。また、両国で活躍するアーティストによるミニライブを開催し、パートナーシップを深めました。

身近なテーマでSDGsへの関心を高める

パネルディスカッションのテーマは、お客さまと同じ目線に立つことを意識して、当社のカンボジア人スタッフに「一人の生活者として解決したい問題はなにか」を問いかけて選んだものです。国連からの「若い方にもSDGsに関心を持ってほしい」というご要望を受け、来場を促進するミニライブも開催しました。



イオンモール カンボジア Corporate Management Division Senior General Manager 須丸 一樹



学生による発表の機会を SDGsの考えを

大学と、幼稚園児から高校生までが在学さまにご協力いただき、SDGsをテーマとした。受験や就職など学生に身近な話題生による手話を使った歌なども披露しました。

学生の方でSDGsをより身近に感じる機会に

当モールは特に若いお客さまが多いこと協力いただき学んだことを平易な言葉でSDGsが身近なものであることを広く伝えました。ご覧になったお客さまからは、「男SDGsのテーマだと初めて知った」という声も届いています。

設け浸透

するインターナショナルスクールの生徒の皆にした研究や取り組みを紹介いただきましや、授業で学んだ環境問題などを発表。小学した。

する機会に

から、学生に発表することえたいと考え男女平等などが声も届いてい



イオンモール ハドン Marketing Senior Executive 小野 澤 優樹



ごみ拾い×スポーツの取り組みでごみ問題への意識を高める



1週間にわたり、さまざまなSDGsの企画を実施しました。企業によるパネル展示やプラスチックごみを再利用するワークショップのほか、チームごとに拾ったごみの量と質を競う日本発の新しいスポーツ「スポGOMI」を開催。15の企業・団体から26チーム、121名が参加し、1時間で76.8kgのごみを集めました。

意識されなかったごみ問題を考えるきっかけに

スポGOMIは、ごみ問題について「知る」だけでなく、「参加する」場を提供する上で最適だと考えています。インドネシアはごみ分別が進んでいないため、活動を通してごみを分けてリサイクルにつなげることの重要性も社会に訴えていきたいです。



イオンモール インドネシア New Business Department General Manager Wulan Dharmajati



イオンモール インドネシア New Business Department Supervisor Bertha Monica



カンボジア物流課題解決に向けて政府・関係省庁と協力し、同国初の「保税・非居住者倉庫」を開業

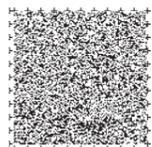


カンボジアの新たな物流拠点として、同国最大貨物取引量を有するシハヌークビル港に「イオンモール カンボジア シハヌークビルFTZロジスティクスセンター」を開業しました。一定期間、関税の徴収が留保される保税制度の適られるとともに、同国で初めて非居住者の在庫の保有が可能になりました。世界のどこからでも在庫状況を確認しを出せるなど、効率的な物流の仕組みを構築し、東南アジアの新しいハブ拠点への成長をめざします。

国のプロジェクトを主導する長年の信頼関係

カンボジア政府は、同国唯一の深海港であるシハヌーク港をアセアンのハブとなるフリーポートにする構想を持っていました。トが難航する中、物流は私たちの専門分野ではないながらも困っているなら力になりたいという想いで事業に参入しました。ここで培ってきた実績や信用があるからこそ、国内初の非居住者在庫取扱ライセンスを発行するなど、政府の国家プロジェクトにいただいています。

イオンモール カンボジア ロジプラス Director/ Senior General Manager 松尾 崇司



飲食ごみを再利用し廃棄物を削減

インドネシア

当社は、ごみを再利用することで施設を拠点に資源が循環する「サーキュラーモール」をめざしています。イオンモールBSD CITYでは、飲食・食品専門店から排出された果物などの生ごみと糖分を発酵させることで天然の清掃洗剤をつくり、廃棄物の削減に取り組んでいます。

専門店と協力して生ごみを有効活用

果物の皮は、状態によっては洗剤づくりに向かないものもあります。飲食の専門店に分別をお願いすることになりますが、皆さまからは好意的な反応をいただき、72店舗にご協力いただいています。こうした活動を継続して、お客さまにも資源循環の大切さを広めていきたいです。



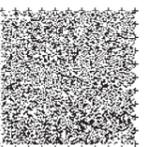
イオンモールBSD CITY Manager Mall Operation Johannes Ivan Kristani



イオンモールBSD CITY Asst Manager Mall Operation Wilibald Yodestiro



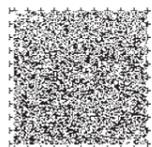
インタビューの全文はこちら



従業員一人ひとりの行動から
地域社会の未来を創造する。

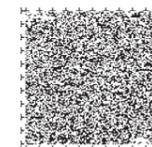
地域社会のさまざまな課題を解決し
皆さまのより豊かな暮らしを実現するため、
約6,000名の従業員一人ひとりが
国内・海外の各地で地域共創に取り組んでいます。

年齢や役職などの垣根を越え、全社で想いをひとつに。
培ってきた知識・経験を活かすとともに、
モールの開発や運営にとどまらず
多様なパートナーの皆さまを巻き込んだ
幅広い事業領域に挑戦することで
地域社会のさまざまな期待に応えます。



イオンモールは、地域とともに成長するために、
未来の当社や従業員のあり方を検討します。

Next Page ▶



当社のあるべき姿を追求し、社内を巻き込み、 未来を示す行動をする。



従業員が主体となり当社の未来の姿を示していくプロジェクト進行中

暮らしの未来を先回りし、商業施設の枠を越えた当社の地域・社会・未来を描き、そこからバックキャスト思考で実行する組織へと変革することをめざして、2021年に社内プロジェクト「studio LIFE DESIGN」を発足しました。同じ志を持った従業員を公募し、役職や年齢に関係なく、すべての部署から集まったメンバーで「自由な発想でルールなし」を合言葉に、2030年ビジョン「イオンモールは、地域共創業へ。」を定めました。ビジョンの実現に向け、プロジェクトメンバーが先駆者として行動し、示すことで、当社の変革を促しています。

#社内プロジェクト #当社の未来を考える #社内を巻き込む



2021年度 studio LIFE DESIGN発足。 未来の世の中・ 生活者を構想し 2030年ビジョンを言語化	2022年度 未来の世の中・生活者を 構想しビジョンを実現する 当社の事業変革を 構想・議論し実現検討へ	2023年度 ビジョンを実現する 各事業部門の 事業変革を構想・ 議論し実現検討へ	2030年度 イオンモールは、 地域共創業へ。
---	---	--	--------------------------------------

2024年度の計画

「当社の2030年代の当たり前の仕事を実践する」をテーマに、OJT形式の取り組みを実施しています。2025年秋開業予定のイオンモール須坂が立地する長野県須坂市を舞台に、地域共創業を担う人材として必要なスキルと思考を身につけ、多様なステークホルダーとともに須坂市へ提案する課題解決プランを共創します。プログラムを通じて、従業員が主体となる地域共創業を実践し、当社の未来の姿を示していきます。

当社従業員



AEON MALL

当社従業員 従業員が自ら行動する強い企業体質の構築

当社の成長と経営理念の実現には、経営層と従業員の考えや行動に途切れの無い状態をつくる必要がある来を示す仕組みを構築しました。それが、「studio LIFE DESIGN」です。地域とともに「暮らしの未来」をつくる部署や人だけではなく、すべての従業員にとって当たり前の行動にしなければなりません。studio LIFEで、地域とともに暮らしの未来を共創する企業にしていきたいですね。

2023年度は、地域の未来とそこで暮らす生活者を構想し、未来に起

当社従業員 地域共創業をめざし地域の皆さまの身近な存在へ

さまざまな部署の方と話して自分にはなかった視点を得るとともに、当モールや地域の課題を見つめ直す機会役場を訪ねてヒアリングなどを行いながらプロジェクトを進行しました。当社が地域共創業をめざすにあたり地域に深く関わっていくべきだと思います。それぞれの地域の皆さまが困ったときに最初にお声がけいただけ

と考え、従業員を主体とする従業員の行動で少し先の未来のために、地域を巻き込み、解決を共創する行動は、特定DESIGNから生まれる従業員の行動が伝播していくこと

こりうる課題に対して解決策を議論しました。

になりました。「公共交通」をテーマに3人でチームを組み、外にでて「何か困ることはありませんか」という姿勢で、身近な存在になることが大切ですね。

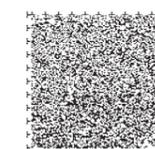
戦略部
戦略グループ マネージャー
studio LIFE DESIGN事務局
大輪 祐子



インタビューの
全文はこちら



イオンモール沖縄ライカム
オペレーション担当
藤間 浩輔



異なる業界の異なる視点で
新しい可能性を追求する。

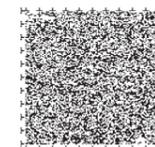
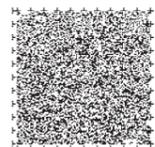
価値観やライフスタイルが多様化する昨今において、
商業ディベロッパーである当社だけでは
解決が難しい社会課題も少なくありません。
より幅広く地域社会に貢献するため
同じ課題意識を共有する多種多様な企業さまと協力します。

事業内容が違えば、得意分野も大きく異なります。
企業がそれぞれの特性を活かし、
多角的な視点で解決に取り組むことで
新しい価値を創造します。



イオンモールは他社や自治体とそれぞれの知識・経験を活かし、
多角的な視点で課題と向き合います。

Next Page ▶





多業種企業と自治体が一体となって 人が行き交うまちづくりに挑む。



幕張豊砂エリアで居心地がよく歩きたくなる ウォークアブルなまちづくりを推進

2023年3月のJR京葉線・幕張豊砂駅の開業をきっかけに、幕張豊砂地区の企業・自治体などで「幕張豊砂ウォークアブル推進社会実験」の実施に関する協定を締結。歩きたくなるまちなかの形成によるエリア価値向上をめざし、実行委員会を発足しました。人工芝エリアの創出やベンチの設置といった滞在環境整備や、官民のパブリック空間を一体的に活用したイベントの開催などを通じて、居心地がよく歩きたくなるまちなかづくりを進めています。



常設のベンチを設置し、
まちを訪れる人々の滞在性を向上

2024年3月に、幕張豊砂駅開業1周年を記念して、 2日間にわたりエリア一帯でさまざまなイベントを開催しました。



近隣の中学・高校や
警察音楽隊による
マーチングパレードを実施



消防車やパトカーなど、
お子さまに人気の
はたらく車を展示

#幕張豊砂ウォークアブル推進社会実験 #歩きたくなるまちなか #イオンモール幕張新都心

企業・自治体



AEON MALL



東日本旅客鉄道株式会社
千葉支社 地域共創部
地域連携ユニット
伊藤 隆史さま

企業 他社や自治体の皆さまと 連携する大切さを実感

まちの活性化は、当社が取り組むべき課題と捉えています。集客力が高くお客さまに喜んでいただけるイベントを開催できたのは、当社だけではなく実行委員会の皆さまと協力したからこそ。連携による大きな効果を実感しています。

イオンモール エリアの魅力向上によりモールへの来館を促進

「地域を盛り上げたい」という同じ志を持った方が集まる実行委員会は、チームとして一体感があります。イベントなどを通して地域の皆さまの満足度を向上させることで、モールへの来館にもつなげたいと考えています。

自治体 これからのまちづくりに 不可欠な官民連携

幕張豊砂地区のウォークアブルなまちづくりを推進するため、企業の皆さまに官民連携による実行委員会の立ち上げや社会実験の実施を提案しました。取り組みを進めるにあたっては、企業はイベントの企画立案や情報発信、自治体は公共空間の活用に向けた調整やインフラ整備を担うなど、官民がそれぞれ得意分野を活かすことが大切ですね。



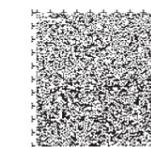
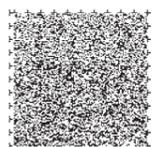
千葉市役所
都市局 都市政策課 主査
田中 誠さま



イオンモール幕張新都心
営業マネージャー
東 駿太郎



インタビューの
全文はこちら



Partner 07 地域スポーツ団体

スポーツの魅力を通して
コミュニティ拠点を創造する。

私たちは人と人とのつながりが生まれる
地域コミュニティの形成をめざしており、
多くの人々を巻き込み感動と熱狂の渦をつくり出す
スポーツの力に期待しています。

地元のスポーツ団体と協力して
パブリックビューイングなどを開催し、
サッカー、ラグビー、バスケットボールなどの
さまざまなスポーツに親しんでいただくことで、
人と人とのつながりを創出し、
地域の一体感を生み出します。



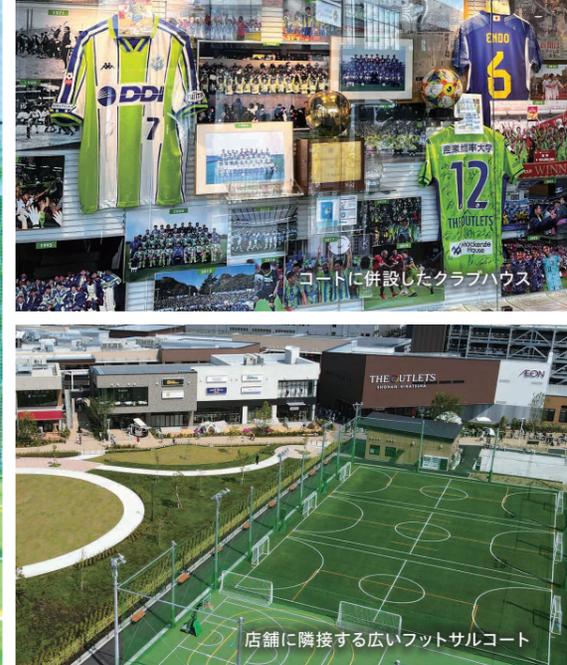
イオンモールはスポーツを通して人々が熱狂できる環境を提供し、
地域の活性化を推進します。

Next Page ▶

地元のサッカークラブとともに 地域のつながりをさらに深める。

THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKAは、プロサッカークラブの湘南ベルマーレとオフィシャルクラブパートナー契約を締結。サッカーやチームの魅力にふれる機会を増やして、ともに地域を盛り上げます。

#湘南ベルマーレ #オフィシャルクラブパートナー #パブリックビューイング #THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKA



コートに併設したクラブハウス

店舗に隣接する広いフットサルコート

地域スポーツ団体



地域スポーツ団体



地域と足並みを揃えて
成長をめざす姿勢に共感

特定非営利活動法人
湘南ベルマーレスポーツクラブ
事務局長

畔柳 豪さま

AEON MALL

THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKAがある大神地区はベルマーレが2006年まで活動拠点にしていた場所で、特別な思い出があります。私たちは地域に必要とされるクラブでありたいと考えており、イオンモールさんの「地域とともに成長する施設になりたい」という想いに大変共感しました。健康増進やスポーツ振興にも役立つお手伝いをして、ぜひ力を合わせて地域を盛り上げたいと考えています。イオンモールさんはさまざまな専門店や他の企業を、私たちは地域を巻き込むことでさらに大きなパワーを生み出し、エリア一帯に良い循環を生み出したいですね。



湘南ベルマーレは、「リーグなクラブだと自負している小学校体育巡回授業運動が嫌いな子どものためミーのコーチが授業を行う使うことを楽しんでもらう共創を進めるイオンモール

地域スポーツ団体

当クラブでも20年以上に
わたり地域貢献活動を実施

株式会社湘南ベルマーレ
第三営業部

天神 祥智さま

の中で最も地域貢献活動に熱心です。例えば年間約170校で実施し、体育の指導が苦手な先生や、ベルマーレフットボールアカデミーのプログラムで、こうした活動は地域さんと通じるところがありますね。

地域スポーツ団体

フットサルコートの子どもの育成、
大人の健康増進の拠点に

湘南ベルマーレ大神フットサルコートマネージャー
スポーツサイエンスダイレクター

清水 智弘さま



店舗に隣接するフットサルコートは3面並びで、仕切りのネットを外せばソサイと呼ばれる大人の7人制サッカーの試合も可能です。怪我をしにくい良質な人工芝を採用し安全性を高めました。おかげさまで、子ども向けのサッカースクールを開催するほか、健康志向な大人向けの運動プログラムを実施するなど幅広い用途でご利用いただいています。コートに併設したクラブハウスには利用者のための更衣室やシャワーだけではなく、サポーターも楽しめるように、クラブの歴史にまつわる写真やユニフォームの展示スペースを設けました。

イオンモール

パートナーシップで地域の魅力をさらに高める



THE OUTLETS
SHONAN HIRATSUKA
営業マネージャー
中田 祐介

湘南ベルマーレさんとの取り組みは、地域創生型商業施設であるTHE OUTLETSが提供する価値のひとつ「地域との出会い」を体現するもので、クラブを応援することでお客さまと施設の一体感が生まれています。平塚は「住みたいまち」としても注目されており、協力してエリアの魅力を高めていきたいですね。

イオンモール

スポーツの魅力との出会いを創出

当施設で開催する湘南ベルマーレ戦のパブリックビューイングは、多くのお客さまで盛り上がり、サッカーに関心がない方にもその魅力にふれていただける機会になっています。今後も地域の皆さまに「ここに住んでいてよかったな」と感じていただける貢献をしたいと思います。

THE OUTLETS
SHONAN HIRATSUKA
営業担当
五十嵐 類



インタビューの
全文はこちら

SPORTS to FUTURE

— スポーツの魅力、地域と未来へ —

当社では、さまざまなスポーツチーム・団体等と連携した取り組みを実施しています。2023年度は全国各地のスポーツチーム53団体との連携・611回以上のスポーツイベントを開催しており、地域のお客さまに楽しい「時」とつながる「場」を提供しています。

その他、全国各地のイオンモールで地域のスポーツチームと連携しています。
[詳細はこちら] <https://online-event.aeonmall.com/sports/>

ラグビー

イオンモールは、2023年12月1日より、
JAPAN RUGBY LEAGUE ONEの地域共創パートナーです。



地域共創パートナー

サッカー



THE OUTLETS
SHONAN
HIRATSUKA



イオンモール
いわき小名浜

バスケットボール



イオンモール
太田



イオンモール
沖縄ライカム

野球



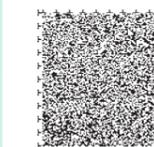
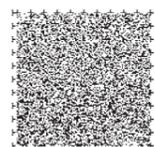
イオンモール福岡
イオンモール筑紫野
イオンモール福津



イオンモール直方
イオンモール大牟田
イオンモール八幡東



イオンモール
広島府中
イオンモール
広島祇園



豊かで健やかな暮らしに貢献するため、
専門的かつ客観的な検証を重ねる。

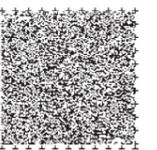
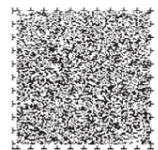
第三者機関である産学・研究機関にご協力いただき、健康増進、感染症対策、環境保全活動などのさまざまな取り組みに対して、専門的な視点で分析・評価いただいています。

取り組みを実行して終わりではなく経過や結果を検証することで、地域社会の課題解決に必要なことを正確に把握し、より良い未来に貢献します。



イオンモールは各分野に精通した専門機関の知見を活かした施設づくりで、より良い暮らしに貢献します。

Next Page ▶





モールウォーキングがもたらす変化を 学術機関と協力して調査する。

専門機関とともにモールウォーキングの健康への影響を検証

モールウォーキングは、モールの館内にウォーキングコースを設置し、お客さまの健康的なライフスタイルをサポートする取り組みです。天候や時間に左右されず、お買い物をしながら気軽に運動することが可能で、専用のアプリにウォーキングデータを記録することもできます。このアプリの記録を活用し、モールウォーキングの取り組みが地域住民の健康やコミュニティに及ぼす影響を明らかにすることを目的に、国立大学法人千葉大学予防医学センターと当社で共同研究を実施しました。

#モールウォーキング #健康 #千葉大学



モールウォーキングに参加した方の歩行傾向を調査

2021年の1年間で専用のアプリに記録された約210,000人の約2,300万日分のデータを分析した結果、モールウォーキングプログラムへの参加が、日常生活における歩行を促進することが期待されます。



本研究結果は、2024年1月30日(現地時間)に米国医師会の国際医学雑誌『JAMA Network Open』に掲載されました

本研究により、モールウォーキングプログラムへの参加が、日常生活における歩行を促進することが期待されます。

大学



AEON MALL

大学

地域全体の健康増進のために

ショッピングモールはお買い物などでよく歩く空間のため、ウォーキングを通して健康づくりを支援するプログラムを提供することには重要な意義があります。地域全体の健康増進には、あまり関心がない方にも運動習慣を取り入れていただくことが必要なので、アプリユーザーの多様性にもポテンシャルを感じます。

花里 真道さま
(千葉大学予防医学センター)

イオンモール データを活かして新しい取り組みを検討

当社としては、データを集めて分析するだけでなく、それをどう活用し、アウトプットしてお客さまにどう伝えるかも重たさ、いずれは自治体や関連団体とも協力して取り組みを行いたいですね。

大学

ウォーキングに適した館内環境

モールウォーキング参加日には約1,200歩の歩数増加が見られました。ショッピングモールの環境は、事故などのリスクが少ない、天候や気温の影響を受けにくい、休憩する場所があるなどウォーキングをする上でさまざまな利点がありますね。

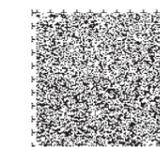
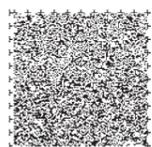
松岡 洋子さま
(千葉大学予防医学センター)

要だと考えています。客観的な研究結果に基づくモールアプリの機能を広く認識してい

CX創造ユニット
営業統括部
北下 裕基



インタビューの
全文はこちら





🏠 開店へ

- 自由が丘で暮らす皆さまの憩いの空間を提供
- 日常の中でふらりと立ち寄れる心地よい場所へ



Jiyugaoka de aone
マネージャー
長谷川 宏之

皆さまの日常に寄り添う空間へ

お買い物をして過ごすといった、日常の営みの中で立ち寄っていただける施設をめざしています。3階のテラスでは、地域の皆さまのニーズにあわせた海外都市の魅力を発信するイベントなどを開催しています。コンセプトの通り、テラスやベンチなどで自由に過ごしていただけるような、くつろげる空間をめざしています。

🏢 リーシング

- 近隣の皆さまの毎日を豊かにする専門店をオープン
- 首都圏初の専門店が6店舗出店し、新しい出会いを創出



開発企画統括部
新業態開発部
木原 繁

都市型ならではの専門店を出店

これまで出店していた郊外の大型モールとは異なり、都市型で施設規模も小さいため、近隣に住む皆さまが主なお客さまになります。自由が丘という全国的な知名度を持つ都市部にオープンすることで、お取引させていただく企業さまの幅が広がりました。ここで生まれた新しいつながりは、今後のモールづくりにも活かしたいですね。



特集

Jiyugaoka de aoneが できるまで

2023年10月、「自然と自然
セプトに、当社として初の
Jiyugaoka de aoneを
設がどのように生まれたの
ご紹介します。

に落ち着ける場所」をコン
セプトに、当社として初の
Jiyugaoka de aoneを
設がどのように生まれたの
ご紹介します。

👥 開発

- グループ企業のアセットを活用した、まちが変わるきっかけとなる開発
- 地域コミュニティ拠点を創出し、新たな価値を付加・提供する

エリアの価値向上につながる施設づくりを

本開発事業は、お客さまに約52年間ご愛顧いただいた「ピーコックストア自由が丘店」をスクラップ&ビルドにより、新たな施設「Jiyugaoka de aone」として開業した、グループ企業のアセットを活用した事業となります。本開発事業を進める上で大切にしたのは、地域コミュニティの醸成と土地の歴史をふまえながら、自由が丘エリアに新たな価値を付加・提供することで、人々が集う場所が少ないという地域課題をふまえ、人々がまち歩きの中でふととどり着き、憩える場の創出をめざしました。



エリア開発統括部
首都圏開発部長
河野 克也

🏗️ 企画・建設

- 地域の交流が生まれるイベントが開催できるテラスを設置
- 環境負荷の少ない建築素材を使用



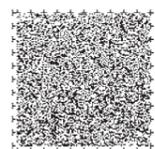
開発企画統括部
建設計画部
担当部長
黒江 倫子

コミュニケーションが生まれる空間を創出

オープンしたときに見たい風景を開発メンバーで話し合い、「今日も良い一日をありがとう」という言葉が自然と生まれる場所へと成長してほしい」という想いを施設コンセプトに込めました。お客さまや専門店従業員さまなど立場を越えた交流が生まれる空間をめざすとともに、環境にも配慮して虫や鳥とも共存する施設づくりを行いました。



インタビューの
全文はこちら



私たちのこだわり



自由が丘のまちを散歩するような空間

1階を除き、アウターモールとして設計。都会的で緑豊かなまちあるきができる街路空間をイメージし、自由が丘のまちになじむ環境デザインを行いました。



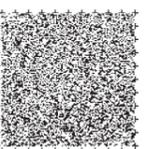
開放感あふれるテラス

3階に広々としたテラスを設置。四季折々の植物を楽しめるほかイベント会場として利用するなど、憩いの空間になっています。



環境に配慮した建築素材を活用

各フロアのウッドデッキに東京都の木である多摩産材を使用。地産地消を行うとともに地球温暖化防止にも貢献します。



私たちはパートナーの皆さまとともに 笑顔あふれる未来を創造します。

イオンモールは、本冊子でご紹介した皆さまに限らず、
地域社会に暮らす人々と手を取り合い
さまざまな課題の解決を進めています。

より豊かな社会を創造し、一人ひとりのしあわせを実現する。
そんな未来を見据えて、皆さまと心をひとつに
着実に歩みを進めています。

これからもパートナーの皆さまと新しい価値を創造することで、
地域社会のより良い未来をめざします。



当社webサイトのご紹介

サステナビリティサイト
当社の地域共創の取り組みを随時更新しています。
<https://www.aeonmall.com/sustainability/>



インタビュー全文はこちら

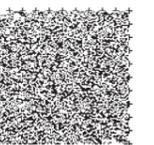
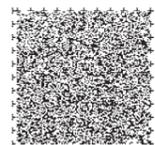
本冊子にご登場いただいた方の
インタビュー全文はこちらからご確認ください。
<https://www.aeonmall.com/sustainability/ldr2024/>



イオンモールのマテリアリティ

当社の重要課題や価値創造モデルなど
詳しくはこちらをご確認ください。

<https://www.aeonmall.com/sustainability/materiality/>



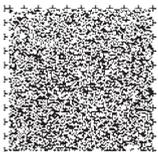


イオンモール株式会社

〒261-8539 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1

TEL: 043-212-6348

<https://www.aeonmall.com>



CUDマークはNPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により、認証された印刷物、製品等に表示できるマークです。



本冊子は適切に管理された森林資源および管理原材料を使用した紙を用い、植物油インキを使用するとともに、印刷時に有害な廃液が出ない「水なし印刷」で印刷しています。

